

令和 8 年熊本地震による被害状況について (速報版)

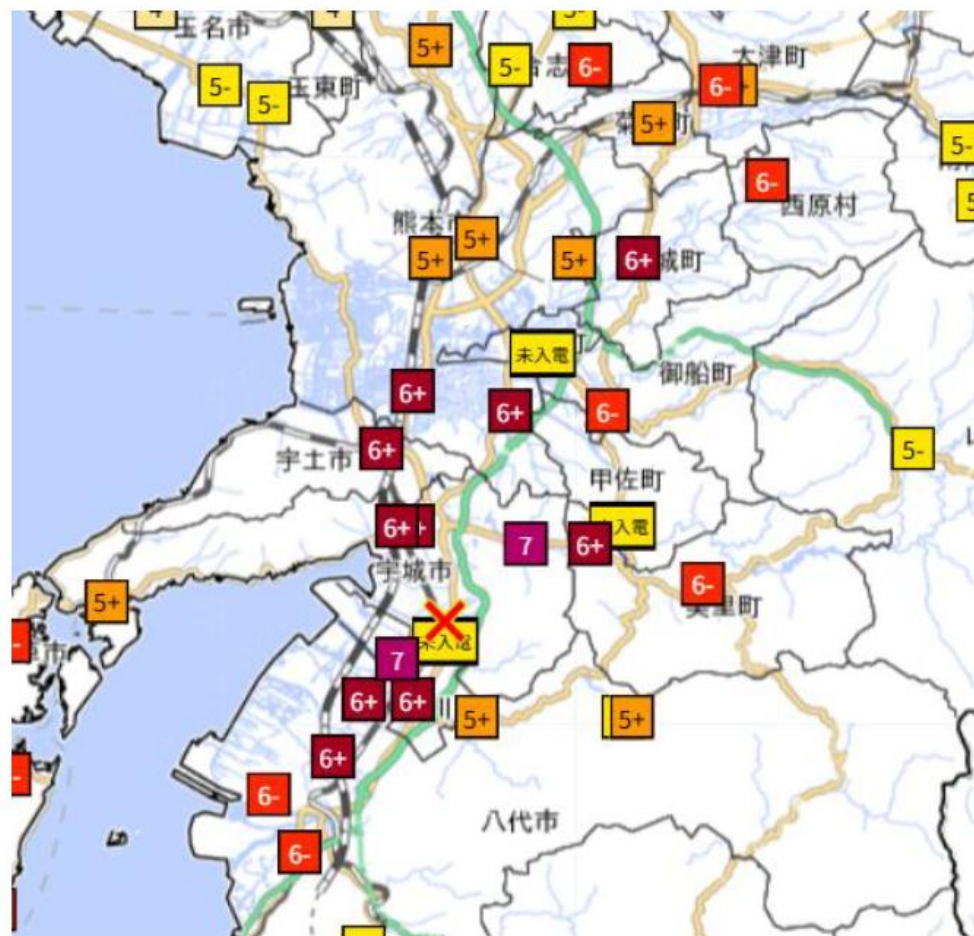
1-1. 令和8年熊本地震の概要

■地震の概要

項目	内容
発生時刻	7月28日（火）16時27分
最大震度	7
震源の深さ	約16km
地震の規模	マグニチュード7.1

震度の分布	自治体
最大震度 7	宇城市、氷川町※
震度 6 強	熊本市南区
震度 5 強	熊本市中央区 熊本市東区 熊本市西区 熊本市北区

※令和8年7月28日熊本地方における最大震度観測地点



出典：気象庁「地震情報」(https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/32.704/130.685/&elem=int&contents=earthquake_map) を加工して作成

1-1. 令和8年熊本地震の概要

■被害の状況（9月30日（水）12:00時点）

内容	被害状況
人的被害	死者数 0名、安否不明者数 0名、行方不明者数 0名、重傷者数 4名、中等症数 61名、軽傷者数 15名
り災証明等	○り災証明書申請件数：計17,781件 ※速報値 （中央区2,711件、東区3,183件、西区1,849件、南区7,931件、北区2,107件） ○り災証明書発行件数：計17,136件 （全壊75棟、大規模半壊39棟、中規模半壊140棟、半壊707棟、準半壊1,891棟、一部損壊14,284棟、被害無し0棟） ○住家被害認定調査実施件数：計10,385件（1次調査）、計3,062件（2次調査） （全壊112棟、大規模半壊31棟、中規模半壊99棟、半壊479棟、準半壊1,398棟、一部損壊7,910棟、被害無し356棟）
ライフライン・公共交通	○停 電：市内復旧済み ○ガ ス：7月31日11時30分復旧完了 ○上水道：城南で断水（8月3日解消）、富合で水圧低下（8月1日解消）、北区で濁水（8月3日解消） ○道 路：緑川右岸道路（国道3号～釈迦堂橋間）を通行止め（8月6日12時 規制解除） ○公共交通：<u>JR九州</u> 新幹線は全線運行再開（9/18～） 在来線（宇土～八代）は運休中（10/10運行再開予定） <u>バス</u> 路線バスは通常運行（8/1～） 高速特急・快速バスは通常運行（9/1～）

1-1. 令和8年熊本地震の概要

■支援団体等による応援の状況

【関係機関】 2 団体（自衛隊、熊本県）

【対口支援】 2 6 団体（1 都 7 県 1 8 市）

【個別協定等】 2 1 団体（1 区 1 8 市 2 町）



り災証明受付の様子



避難所運営の様子



保健師避難所巡回の様子

1-1. 令和8年熊本地震の概要

■本市における被害状況



住家（南区）の破損状況

※掲載写真は発災後の状況を示したものであり、個別の建築物等の安全性や被害程度を評価したものではありません。

1-2. 中心市街地の被害状況

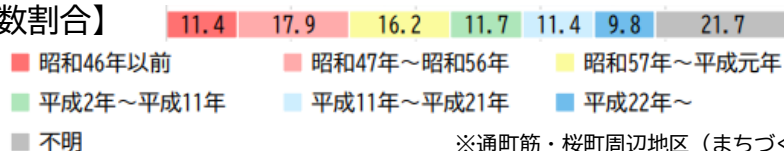
■建物建築年

まちづくりプラン対象地区内の建築物の約3割(500棟以上)が地震時に倒壊の恐れがある老朽建築物(昭和56年以前に建築された建築物)で、地区全体に分布

【建築年別建物分布】



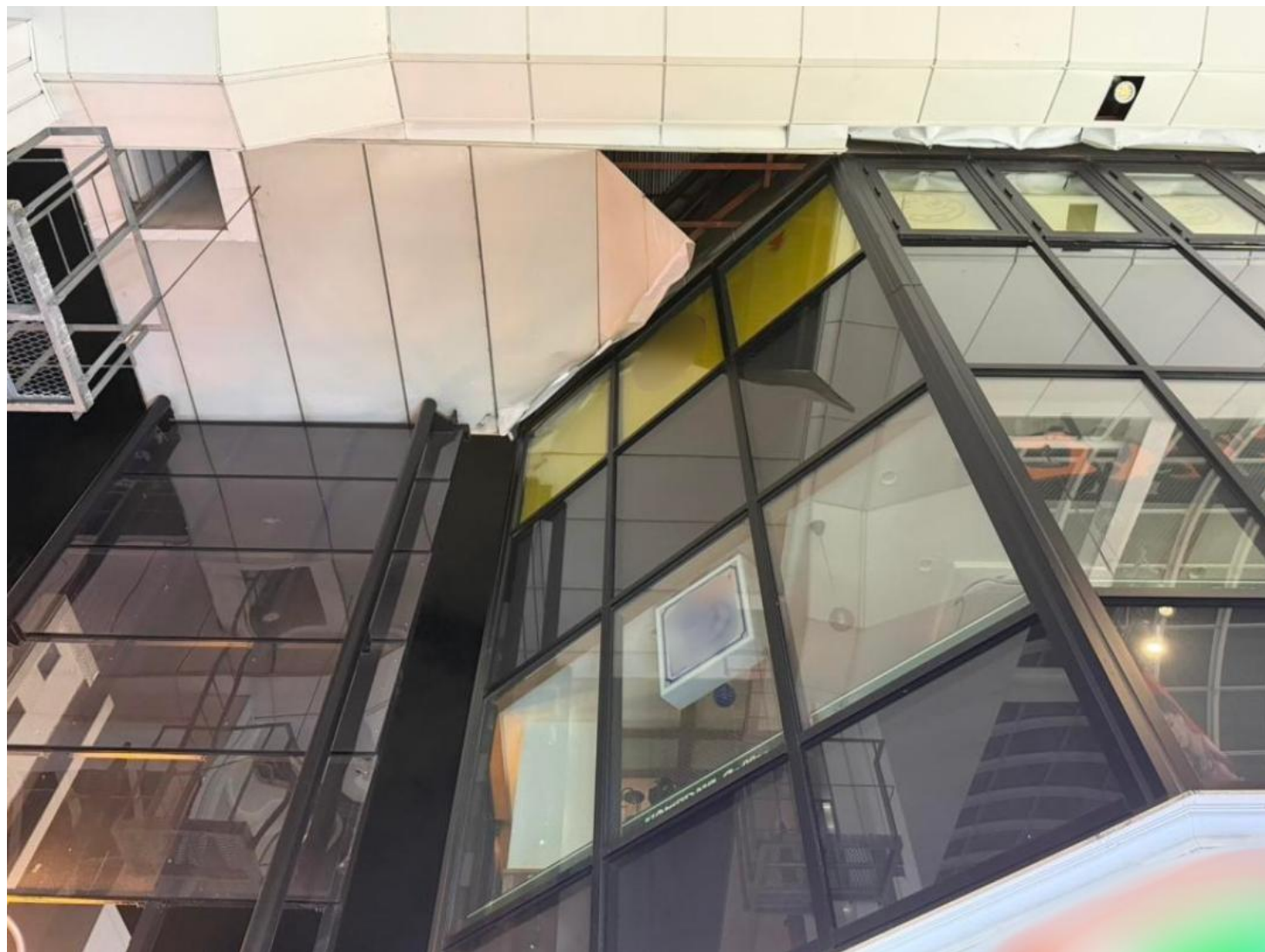
【建築年別建物の棟数割合】



※通町筋・桜町周辺地区(まちづくりプラン対象地区)内

1-2. 中心市街地の被害状況

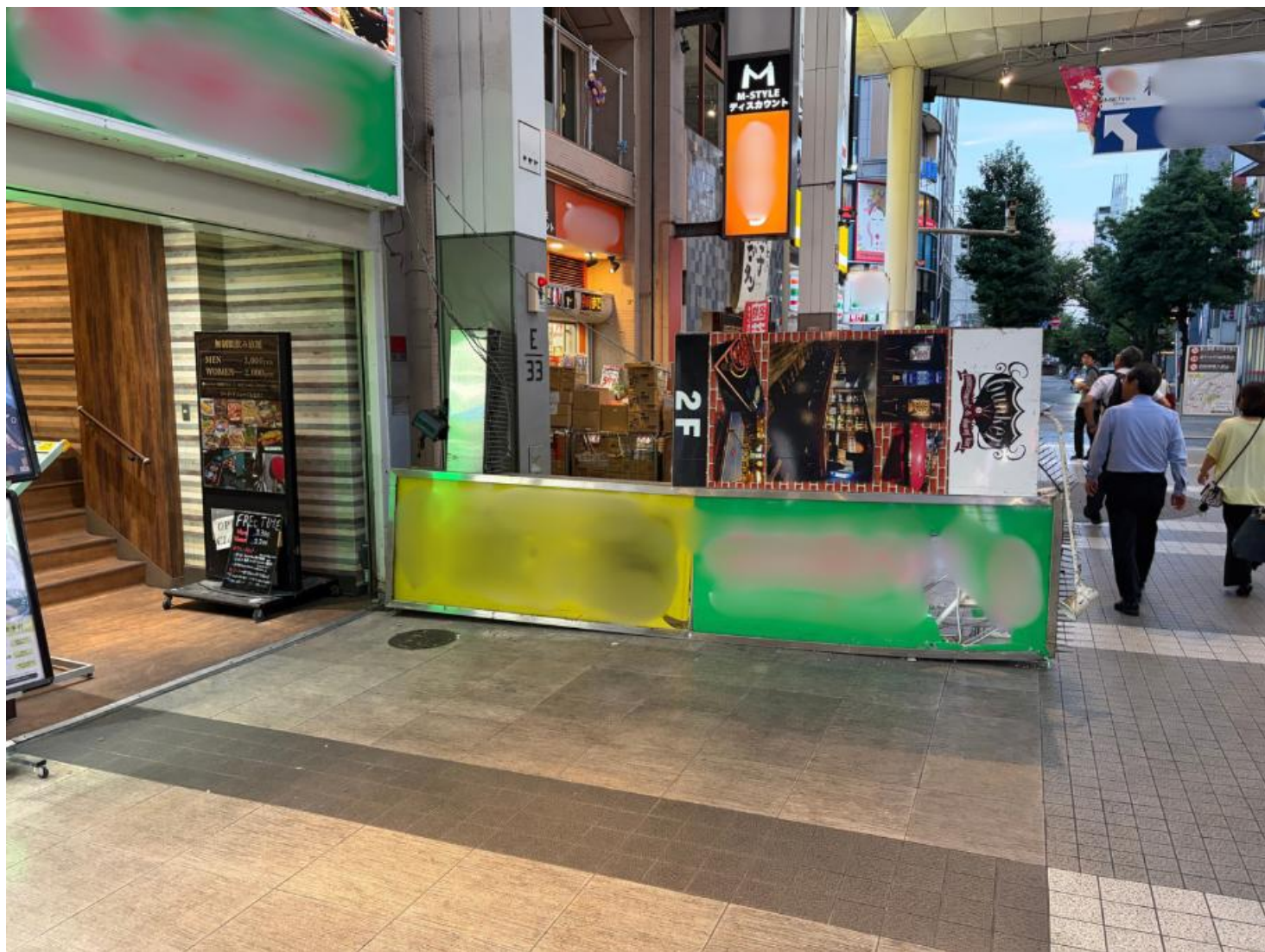
■中心市街地：アーケードの天井落下



※掲載写真は発災後の状況を示したものであり、個別の建築物等の安全性や被害程度を評価したものではありません。

1-2. 中心市街地の被害状況

■中心市街地：看板落下



※掲載写真は発災後の状況を示したものであり、個別の建築物等の安全性や被害程度を評価したものではありません。

1-2. 中心市街地の被害状況

■中心市街地：外壁落下



※掲載写真は発災後の状況を示したものであり、個別の建築物等の安全性や被害程度を評価したものではありません。

1-2. 中心市街地の被害状況

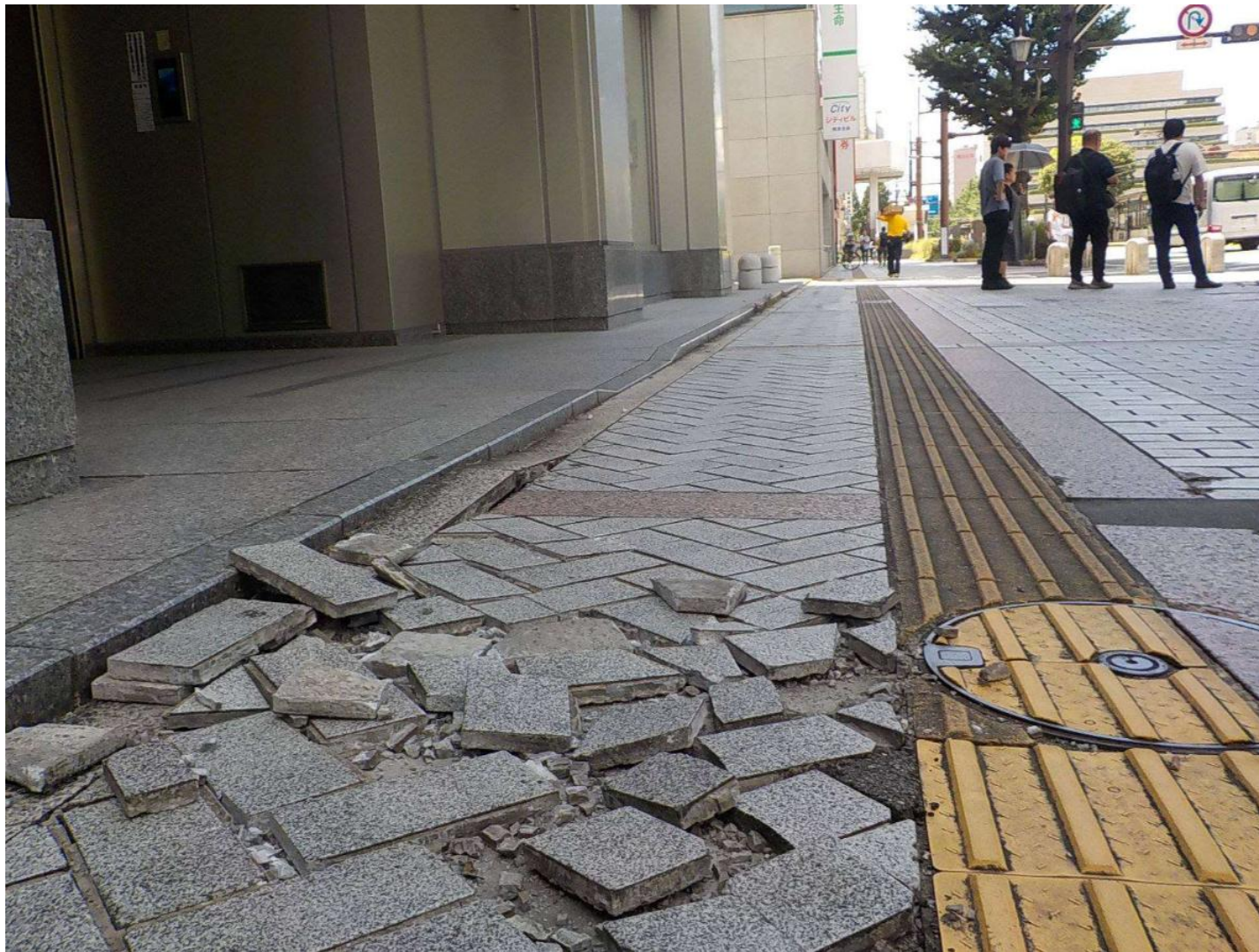
■中心市街地：外壁破損



※掲載写真は発災後の状況を示したものであり、個別の建築物等の安全性や被害程度を評価したものではありません。

1-2. 中心市街地の被害状況

■ 中心市街地：路面破損



1-3. 令和8年熊本地震時の花畑・桜町地区の状況

■花畑広場周辺の避難・滞留の状況



■桜町地区再開発施設の帰宅困難者受け入れ状況



- 開設：7/28（火）20：38 ～ 閉鎖：7/30（木）17：00
- 最大約200名を、熊本城ホールにて受け入れ

<対応内容>

- 再開発ビル内に備蓄していた水や食料を計6回にわたり配布
- 公共交通機関の運行状況を明示
- 外国人も多く避難されており、近隣の国際交流会館と連携し、通訳を交えて避難者の状況を把握

1-4. 桜町・花畑周辺地区について

■花畑広場

熊本市地域防災計画の**一時避難場所（※1）**に指定されており、指定管理者制度による管理運営を行っている。また、発災直後の一時避難場所として必要な防災機能を配置している。

■熊本桜町ビル（桜町地区再開発施設）

桜町地区再開発事業においては、熊本地震をきっかけに防災面での計画の見直しが行われ、耐震性の向上や備蓄倉庫の設置など、防災拠点としての機能が強化された。

熊本市地域防災計画の**大規模災害時における帰宅困難者一時滞在施設（※2）**に指定されている。

〔耐震性能の向上〕

耐震重要度係数1.25

〔災害時機能持続性強化〕

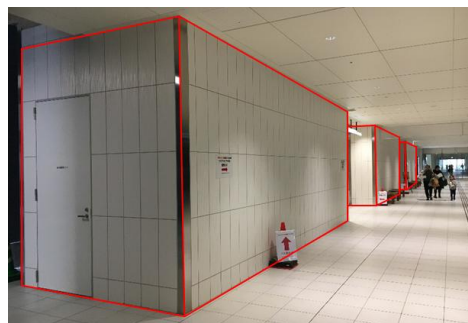
- ① 一時帰宅困難者受入れ：11,000人／3日間
- ② 給排水容量：96時間（給排水の多重化）
 - ・井水ろ過→飲料水利用
 - ・蓄熱槽 →雑用水利用
- ③ 発電機容量：72時間

〔杭長の延伸〕

より強固な支持地盤へ延長

〔水害対策〕

- ・1階床レベル設定→道路レベル + 300mm
- ・電気関係諸室の上階への配置 等



施設内の備蓄倉庫（商業施設）



施設内の備蓄倉庫（熊本城ホール）

※1）一時避難場所＝指定緊急避難場所…災害時危険を回避するために一時的に避難する場所。

※2）市は公共交通機関が運行を停止した場合、自宅で帰宅することが困難な者（帰宅困難者）が発生するおそれがあることから、必要に応じて、滞在所の確保や水、トイレの提供などの帰宅困難者対策を行うこととしている。特に主要駅等の周辺地域においては、多くの帰宅困難者の発生が見込まれることから、帰宅困難者が一時的に滞在できる施設を確保している。

1-5. 令和8年熊本地震時の熊本駅周辺地区の状況

■熊本駅白川口駅前広場周辺の避難・滞留の状況



■熊本駅周辺地区の施設の帰宅困難者受け入れ状況



- 開設：7/28（火）20：02 ～ 閉鎖：7/29（水）17：00
- 最大86名（目測）を受け入れ
- 熊本地方合同庁舎、東横INN熊本駅前、ワン・ステーションホテル熊本にて受け入れ

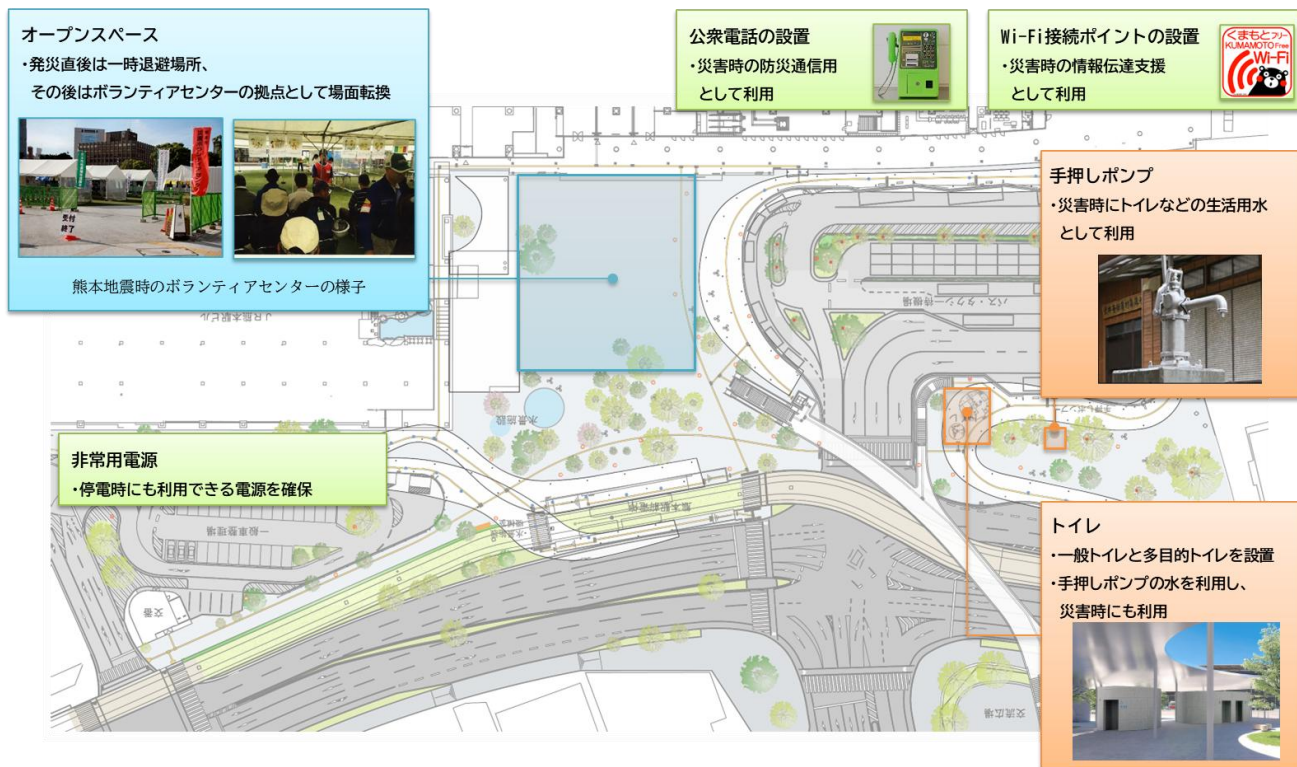
- <対応内容>
- 水・毛布を提供、食料提供の要請なし
- 公共交通機関の運行再開までの待機場所として機能

熊本地方合同庁舎内での受入れ状況

1-6. 熊本駅周辺地区について

■熊本駅白川口駅前広場

熊本市地域防災計画の**一時避難場所（※1）**に指定されており、様々な防災施設が整備されている



■熊本駅周辺地区の施設

熊本市地域防災計画の**大規模災害時における帰宅困難者一時滞在施設（※2）**に指定されており、市と周辺の民間事業者とが協定を結び、帰宅困難者が一時的に滞在できる施設等や支援物資等の支援について取り決めを行っている。

※1）一時避難場所＝指定緊急避難場所…災害時危険を回避するために一時的に避難する場所。

※2）市は公共交通機関が運行を停止した場合、自宅で帰宅することが困難な者（帰宅困難者）が発生するおそれがあることから、必要に応じて、滞在所の確保や水、トイレの提供などの帰宅困難者対策を行うこととしている。特に主要駅等の周辺地域においては、多くの帰宅困難者の発生が見込まれることから、帰宅困難者が一時的に滞在できる施設を確保している。

1-4. 現庁舎の被害状況

令和8年熊本地震では、中央区は震度5強だったが、天井材落下やアスベストの露出等の被害が発生

地震(7/28)

マグニチュード7.1 震源の深さ16km

中央区の震度5強

○ 本庁舎（行政棟）

- ・各所で天井パネルが落下（79か所）
- ・柱を覆う内装材の外れ
- ・各所で防煙垂れ壁破損
- ・各所で配管から水漏れ（漏水による漏電発生）
- ・エレベーター7基停止



防煙垂れ壁（ガラス）破損



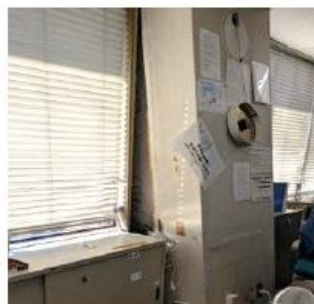
照明器具落下

○ 議会棟

- ・各所で配管から水漏れ ・空調機破損
- ・渡り廊下エキスパンジョイントカバー外れ
- ・エレベーター1基停止

※設備等の復旧に要した時間

- ・水道：断水（約2時間後に完全復旧）
- ・電気：照明回路が遮断（当日中に復旧）
- ・空調：空調一部停止（約1週間後に仮復旧）
- ・エレベーター：6基は2日後までに復旧（残り2基は8/6及び8/23復旧）



内装材の外れ



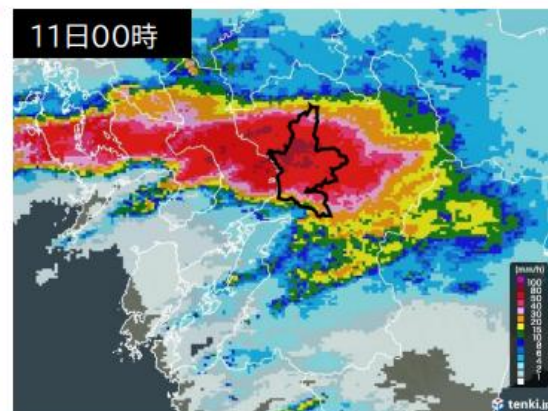
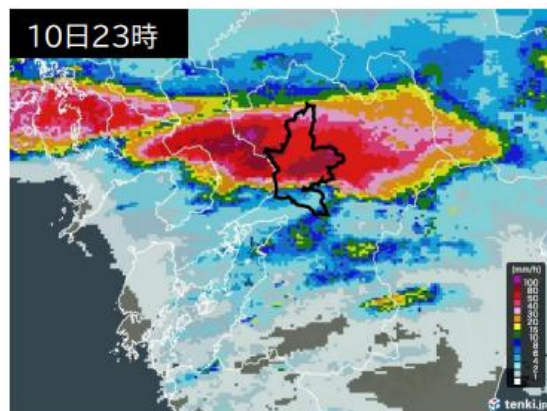
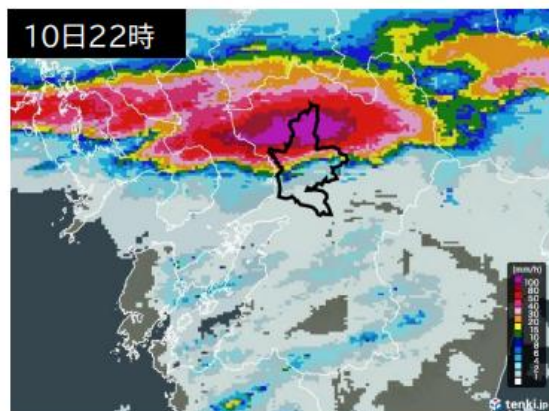
天井パネル落下

令和 7 年 8 月豪雨による被害状況について

2-1. 令和7年8月豪雨の概要

■大雨の概要

- 本市では8月10日21時25分に大雨警報が発令
- 8月10日22時から8月11日正午までの間に、複数回、記録的短時間大雨に関する情報が発令



雨雲レーダー

出典：tenki.jp

観測所名	熊本		坪井川	
3時間雨量 (mm)	205	10日22時～11日01時	238	10日22時～11日01時
最大日雨量 (mm)	364	10日15時～11日15時	383	10日16時～11日16時
最大時間雨量 (mm)	79	10日23時	91	10日24時

出典：令和7年8月10日から的大雨時における排水機場等の稼働状況等に関する検証委員会資料・一部加工

出典：令和7年8月豪雨に関する全員会議資料抜粋・一部加工

2-1. 令和7年8月豪雨の概要

■被害等の状況（令和7年10月14日17：00時点）

内容	被害状況
人的被害	死亡1件、行方不明1件、軽中等症5件
住家被害	○り災証明書申請2,256件 ○り災証明書発行件数2,051件 （全壊0件、大規模半壊2件、中規模半壊21件、半壊685件、準半壊242件、一部損壊1,100件、無被害1件） ※参考：床上浸水1,183件、床下浸水739件、その他128件、無被害1件
土砂災害	214件
道路冠水	132件
その他	105件（倒木、道路損壊など）
避難者	0人
車両水没	2,000台超 （災害サポート・レンタカー受付件数、レッカー移動件数、民間の損害保険会社における車両保険受付件数より推計）

出典：8月10日からの大雨に関する災害対策本部会議資料・一部加工

2-1. 令和7年8月豪雨の概要

■本市における被害状況



道路冠水（中央区段山本町）



健軍川護岸崩壊（東区神水本町）



浜戸川越水による舗装損壊（南区城南町鰐瀬地内）



土砂崩れ（北区徳王）

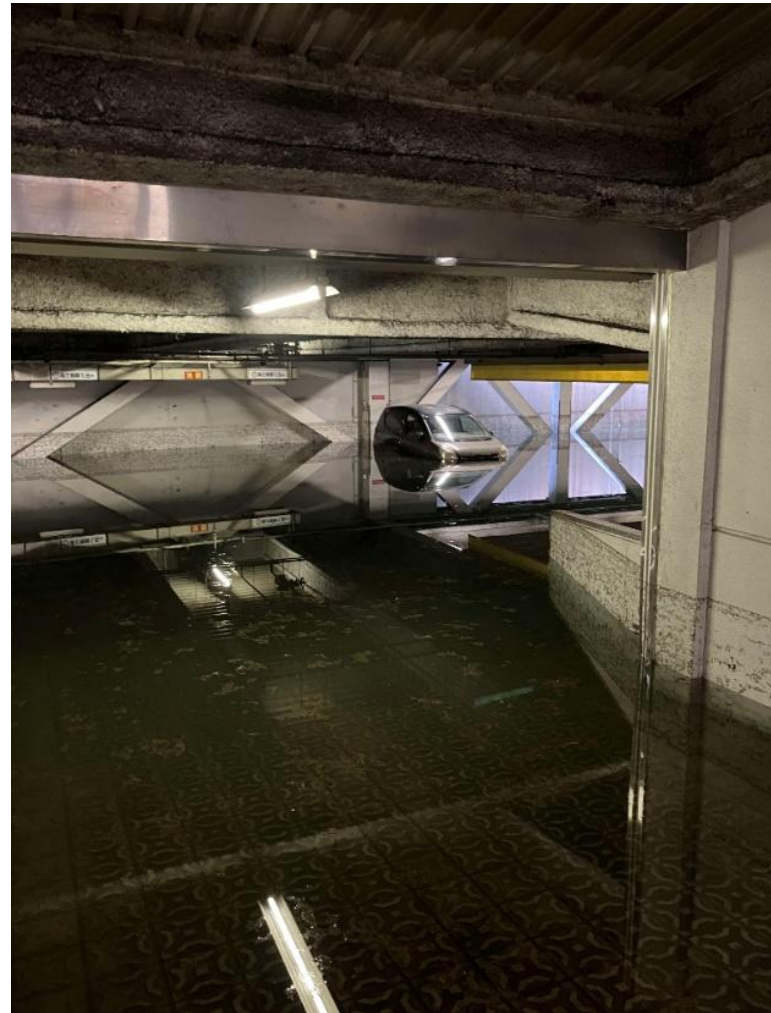
2-2. 中心市街地の被害状況

■下通アーケード浸水状況



2-2. 中心市街地の被害状況

■市役所駐車場 地下1階の浸水状況



出典：8月10日からの大雨に関する災害対策本部会議資料および駐車場管理者より

2-2. 中心市街地の被害状況

■本庁地下1階の浸水直後（清掃前）の状況

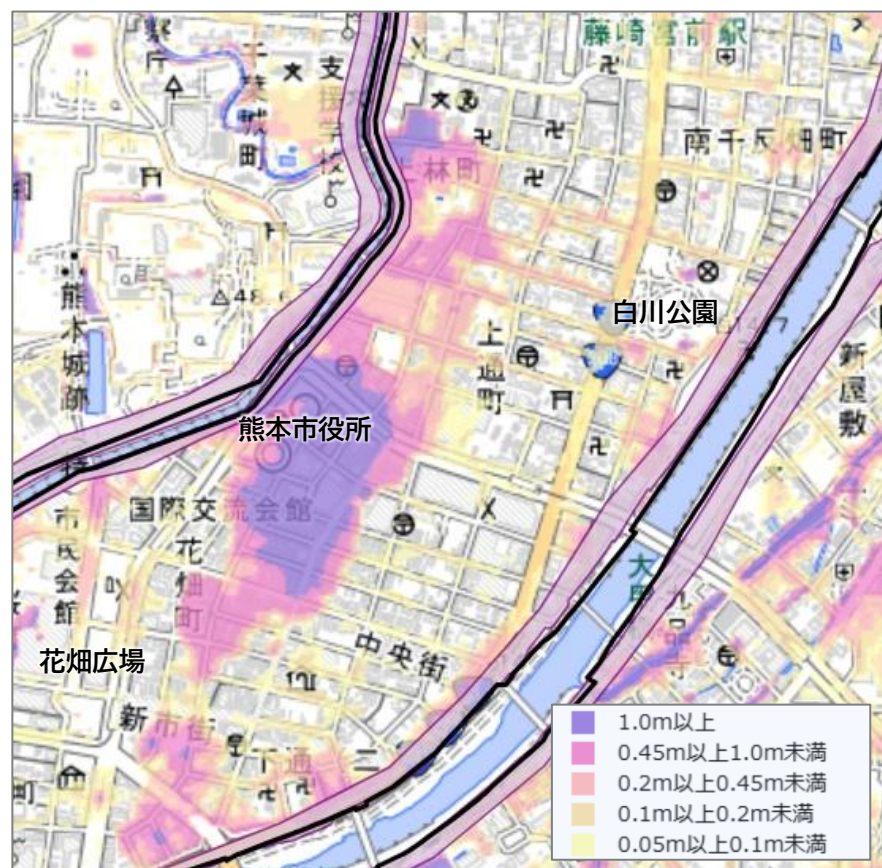


2-3. 中心市街地の浸水想定

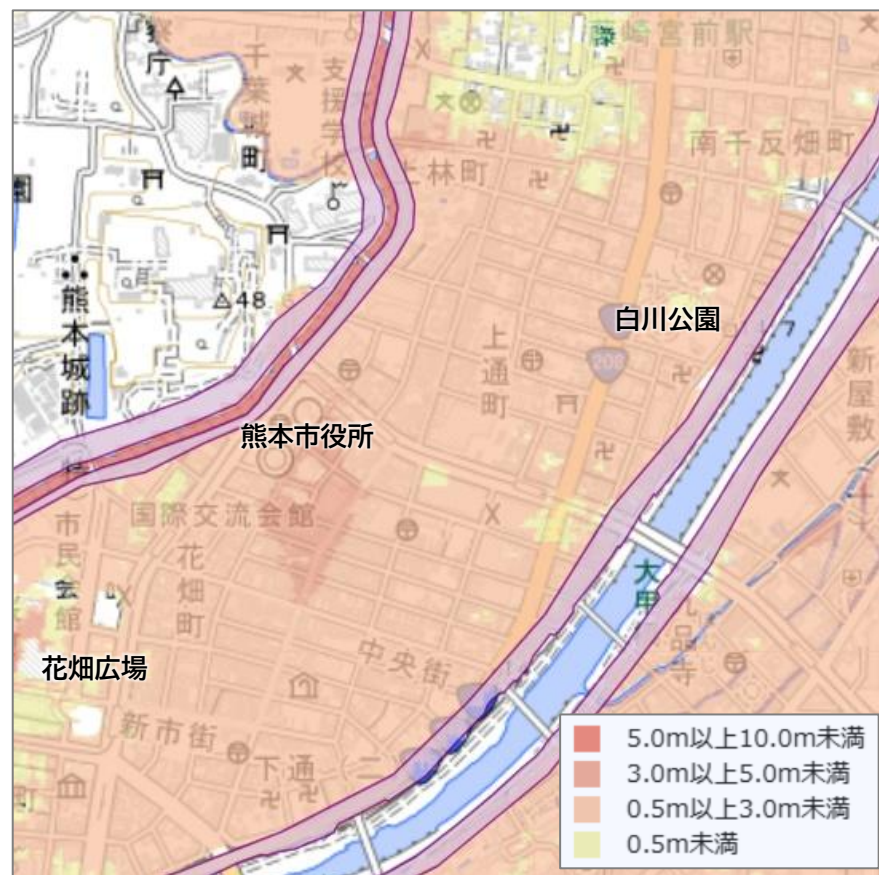
■想定される浸水深

- ・内水の浸水想定(想定最大規模降雨)では、商店街周辺に1.0m以上の浸水想定区域が存在
- ・洪水(外水)の浸水想定(想定最大規模降雨)では、地区の大部分が浸水深0.5m～3m未満の想定

内水想定



洪水(外水)想定



※ 内水氾濫：降った雨が水路や下水道（雨水）などで排水できなくなるにより起こる氾濫

※ 外水氾濫：川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫

出典：熊本市ハザードマップ

2-4. 水害対策に関する主な取組

● 防災行政無線自動吹鳴システムの導入

- ✓ 指定の河川が基準水位に達した時点で自動的にサイレンが吹鳴される「防災行政無線自動吹鳴システム」を導入し、令和8年6月1日から運用を開始

● 熊本市止水板等設置補助金

- ✓ 浸水被害の防止及び軽減をするため、熊本市内に所在する浸水被害のおそれのある建物等の所有者または使用者を対象に、止水板を購入または設置に要した費用の一部を補助。（上限50万円）

● 雨水貯留管の設置

- ✓ 市役所周辺約60ヘクタールを対策範囲とする施設として、道路地下へ雨水貯留管を新設
- ✓ 河川の水位が高く雨水を排出できなくても、一定程度水を貯めることが可能

● 下水道水位情報システムの導入

- ✓ ソフト対策として下水道管内の水位を測定、公開するシステムを導入準備中

● 熊本駐車場協会との包括連携に関する協定

- ✓ 災害時における一次避難場所として立体駐車場の活用を検討